

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



世界の国々や文化を紹介する「ワールズ・ウィンドウ」！ 案内役は、国際交流員リサアン・カワチさんとエイミー・タッペンデンさんです。

Vol.94 ニュージーランド のスキー場

Hello! みなさん、こんにちはエイミーです。2月の鶴田町と岩木山は雪に包まれてとても綺麗ですね。わたしの生まれ育ったクライストチャーチの街にはあまり雪が降らないので、ウィンタースポーツが大好きなわたしにとって夢の国のようなです。(でも、ちょっと寒すぎますが…)

さて、今月はニュージーランドのスキー場についてご紹介したいと思います。

ニュージーランドは北島と南島の2つの島に分かれていて、両方の島には毎年冬に雪が降ります。きれいにそびえ立っているニュージーランドの山々には、さまざまなスキー場があります。ニュージーランドと日本のスキー場の違いは、スキー場が山頂付近にあることです。スキー場によって違いますが、車で約1時間ほど山を上るとスキー場へ到着します。ニュージーランドでは、雪が青森県のように平地に降らないためです。普段は山の頂上から5合目まで雪が積もるだけなので山のふもとには雪がありません。

わたしの出身地クライストチャーチには3つのスキー場があり、その中で一番大きいスキー場は「マウント・ハット」(Mt. Hutt)といい実家から約2時間半で着きます。わたしが16歳の時まで毎週土曜日に父と一緒にマウント・ハットへ行っていました。移動に2時間半かかるので、朝6時に起きて7時には家を出発しないとスキー場に一番近い駐車場に車を止めることができなくなります。

マウント・ハットがある山のふもとに到着すると、冬タイヤを持っていない人はその日の天気によ



△マウント・ハットスキー場のロッジ

ってタイヤにチェーンをつけてから山を上ります。スキー場までの移動時間は約1時間です。スキー場への道路は砂利道でガードレール也没有。そのため運転に集中していないと崖から落ちる可能性もあります。この20年間で転落事故が数件ありました。スキー場の駐車場で車を止めると、真正面には「Mt. Hutt」と書かれた看板がロッジスタイルのビルに掲げてあります。日本と違い、ニュージーランドのスキー場にはゴンドラがなく、高速リフトと普通リフトだけがあります。その上、リフトには冷たい風を防ぐフードがなく、風が強い日は顔がとても冷たくなります。マウント・ハットには高速リフトが1つと普通リフトが2つあります。高速リフトはグレンデの頂上まで行き、名前は「Summit Six」(サミット・シックス)です。6人乗りで、頂上から始まるコースなので利用するのは中級や上級のスキーヤーとスノーボーダーがほとんどです。ほかの2つの普通リフトはサミット・シ



・6人乗り高速リフト「サミット・シックス」

ックスの左右にあり、左側は3人乗りの普通リフトで、グレンデの一番下まで行くリフトです。下まで行くコースは上級コースも少しありますが中級コースがほとんどです。このコースには日があまりあたらず雪が固く締まっているので中級者や上級者でも怖いコースです。高速リフトのサミット・シックスの右側にあるリフトは4人乗りでサミット・シックスの半分ぐらいまでグレンデを上り、降りると初級コースと上級コースがあります。週末のマウント・ハットは大変混雑していて、リフトに乗るのに1時間程度待つことが普通です。ちなみに1日のチケット代金は93NZドル(日本円で約6,700円)と日本より少し高めです。また、ニュージーランドと日本のスキー場の大きな違いは雪質です。特にマウント・ハットでは7月だけ雪が降るので8月と9月の雪質は固いバーンで、新雪で滑走できるの確率はかなり低いです。また朝には斜面が凍ることが多く、スキーやスノーボードをするのが難しい時もあります。その他の違いは積雪です。現在、鯉ヶ沢ナクア白神スキー場の積雪は200㍎～300㍎ぐらいですが、マウント・ハットではこんなに雪の量がありません。一番多い時でも積雪は200㍎を超えません。

ニュージーランドでのウィンタースポーツは日本とはかなりの違いがありますが、機会がありましたら、ぜひマウント・ハットなどでニュージーランドならではの広大なスキー場と雪を楽しんでみてください！



△運が良ければこんな光景に出会えるかも